



物流ニッポン

2008年(平成20年)

12|4(木)

発行/月曜日・木曜日 第3184号

購読料/半年32,130円(月額5,355円、税込)

©物流ニッポン新聞社 2008 (昭和44年4月1日第三種郵便物認可)

クロスライン

来年、埼玉に新倉庫 エリア存在感を高める

【石井麻里】危険物倉庫(玉泉騎西町)を開設する。イーを大きくすることで、危険物の保管ニーズが多くなり、エリアの存在感を高めたい。安藤敏弘社長、東京い埼玉エリアで自前の拠点を考えた。都大田区)は来年四月、点を新設。定温倉庫も予一、九七二年の設立で、埼玉第二倉庫(仮称、埼玉第二倉庫)を全国ネットを持つエクシ

ング(安藤邦彦社長、兵庫県尼崎市)のグループ会社に、構内運搬、人材派遣、梱包、物品販売、葬祭取次業を手掛ける。京浜島倉庫(東京都大田区)、埼玉倉庫(埼玉泉騎西町)、鹿沼北倉庫(栃木県鹿沼市)の三拠点を運営している。京浜島倉庫は、東京港エリア唯一の危険物倉庫で、倉庫面積は千六百四十七平方メートル。定温および低温倉庫のほか、一般倉庫も備える。東京港大井、青海コンテナふ頭に近い立地のメリットを生かすため、保税蔵置場の認可を得ている。

埼玉倉庫は、同社最大の拠点で、危険物倉庫の倉庫面積は二千八百九十一平方メートル。一般倉庫も併設している。塗料、シンナー、合成樹脂など化学製品全般を取り扱い、同エリアの荷主、同業者からの引き合いが多い。

このため、埼玉倉庫から五キロの立地に新倉庫開設に踏み切った。四千九百五十平方メートルの敷地に、危険物倉庫二棟および一般倉庫を建設中。ニーズがあると判断し、セ氏二〇年度で管理可能な定温倉庫も設ける。三月末に竣工予定。

埼玉倉庫は、同社最大の拠点で、危険物倉庫の倉庫面積は二千八百九十一平方メートル。一般倉庫も併設している。塗料、シンナー、合成樹脂など化学製品全般を取り扱い、同エリアの荷主、同業者からの引き合いが多い。

このため、埼玉倉庫から五キロの立地に新倉庫開設に踏み切った。四千九百五十平方メートルの敷地に、危険物倉庫二棟および一般倉庫を建設中。ニーズがあると判断し、セ氏二〇年度で管理可能な定温倉庫も設ける。三月末に竣工予定。

同エリアは圏央道の開通により、交通アクセスがさらに向上。埼玉倉庫は、同社最大の拠点で、危険物倉庫の倉庫面積は二千八百九十一平方メートル。一般倉庫も併設している。塗料、シンナー、合成樹脂など化学製品全般を取り扱い、同エリアの荷主、同業者からの引き合いが多い。

このため、埼玉倉庫から五キロの立地に新倉庫開設に踏み切った。四千九百五十平方メートルの敷地に、危険物倉庫二棟および一般倉庫を建設中。ニーズがあると判断し、セ氏二〇年度で管理可能な定温倉庫も設ける。三月末に竣工予定。